

基本的施策Ⅰ 県民運動の展開

農業者や企業等による地下水かん養を始めとした環境に配慮した農業の取組み等に対し、県民全体の理解を進め協力が得られるよう、地下水と土を育む農畜産物の購入機会拡大や制度の周知を進めます。

また、地下水保全活動を行う行政や農業関係者、企業、団体、市民グループ及び学校等との連携を強固にし、県内全地域へ地下水と土を育む農業についての啓発を行うなど必要な情報発信と啓発活動を行うことで、県民全体による行動を目指します。

持続可能な社会を作るために取り組むべきビジョンや課題を網羅したSDGsの理念に沿って、地下水と土を育む取組みを50年後、100年後の未来へ引き継いでいき、次世代を担う子ども達が、熊本の地下水と土に誇りを持てるよう地下水と土を育む農業を学び・触れ合い・身近に感じられる機会を増やします。

・プログラム（具体的取組）Ⅰ－Ⅰ 県民会議による県民運動の展開

目標指標：県民会議の開催

アクション1 県民会議における計画進捗管理

地下水と土を育む農業を県民と協働して推進するため、農業者、消費者や企業の代表者等で構成する県民会議を開催します。

この県民会議にて、計画の進捗状況を確認し、各県民会議メンバーの活動情報を共有しながら、計画進捗管理を行います。



アクション2 県民会議メンバーの率先行動

農業者、県民や企業等の連携を強化することにより、県民全員で地下水と土を育む農業を推進する運動を展開します。

県民会議構成団体による地下水と土を守る行動や、地下水と土を育む農業への取組みによって県民運動をけん引します。

アクション3 企業、団体等の県民運動への参加

企業、団体等が率先して運動へ参加し、活動の輪を広げます。各活動を組み合わせることで、横断的な活動へ発展させます。

・プログラム（具体的取組） I - 2

広い世代への理解促進

目標指標：地下水と土を育む農業の学習者数 26,500人/年→35,000人/年

アクション1 地下水と土を育む農業の啓発

地下水と土を育む農業に対する県民理解を深めるため、地下水保全活動を行う行政や企業や地下水財団、愛護基金、市民グループ等と協働して啓発を図ります。

また、啓発活動に中核的な役割を担う推進員を育成し、周囲への波及効果を高めます。



アクション2 未来を担う子ども達の育成

未来を担い、熊本を愛する心を持って、地下水と土を育む農業を育む担い手を育成します。

地下水財団、愛護基金、市民グループ等と共同して、未来を担う子ども達が、地下水保全活動を行う水田等において農業を体験する機会を作り、その体験を通して、自ら考え、学べる環境を整えます。

また、副読本などの学習資料等の活用を通して、県内小中学校等で、地下水と土を育む農業に関する教育の充実を図ります。

アクション3 効果的な理解促進

県民運動について、パブリシティ活動により県民へ広く周知するとともに、地下水と土を支える農業の仕組みや活動を深く理解して、共感できるようにします。

また、ホームページや刊行物等様々な媒体による情報提供に加えて、各種イベントや出前講座などを活用し、情報を効果的に発信することで、地下水と土を育む農業をより身近に感じられるようにします。

・プログラム（具体的取組）I - 3

販売・購入機会の拡大

**目標指標：地下水と土を育む農業により生産された農畜産物等販売コーナー設置店舗数
150店舗→200店舗**

アクション1 地下水と土を育む農業により生産された農畜産物等販売店舗の拡大

農業者等の販売と消費者の購入の機会確保のため、「地下水と土を育む農畜産物等」、「グリーン農業農産物」、「地下水を育む米」、「水の恵み」などの地下水と土を育む農業により生産された農畜産物等を販売する店舗数を拡大します。

店舗では、農産物販売や制度紹介コーナーの設置、インターネット販売では、ホームページと認証マークの連動などによって、地下水と土を育む農業活動により生産された農畜産物を購入できる環境を整備します。

農業者と消費者が直接会話できるマルシェの定期的な開催など、地下水と土を育む農業に取り組む農業者と取組みを支える消費者が直接交流できる環境を作り、相互理解の促進を図ります。



アクション2 認証制度等を活用した運動の展開

地下水と土を育む農業に関連する認証制度等を活用しながら、活動情報を発信し、地下水と土を育む農業活動への農業者、消費者、企業等の参加を促すことで、認証農畜産物等を販売・購入する機会を拡大し、運動の活性化を図ります。